

ウォーカブルなまちづくりの推進に向けた中央通りに係る取組について

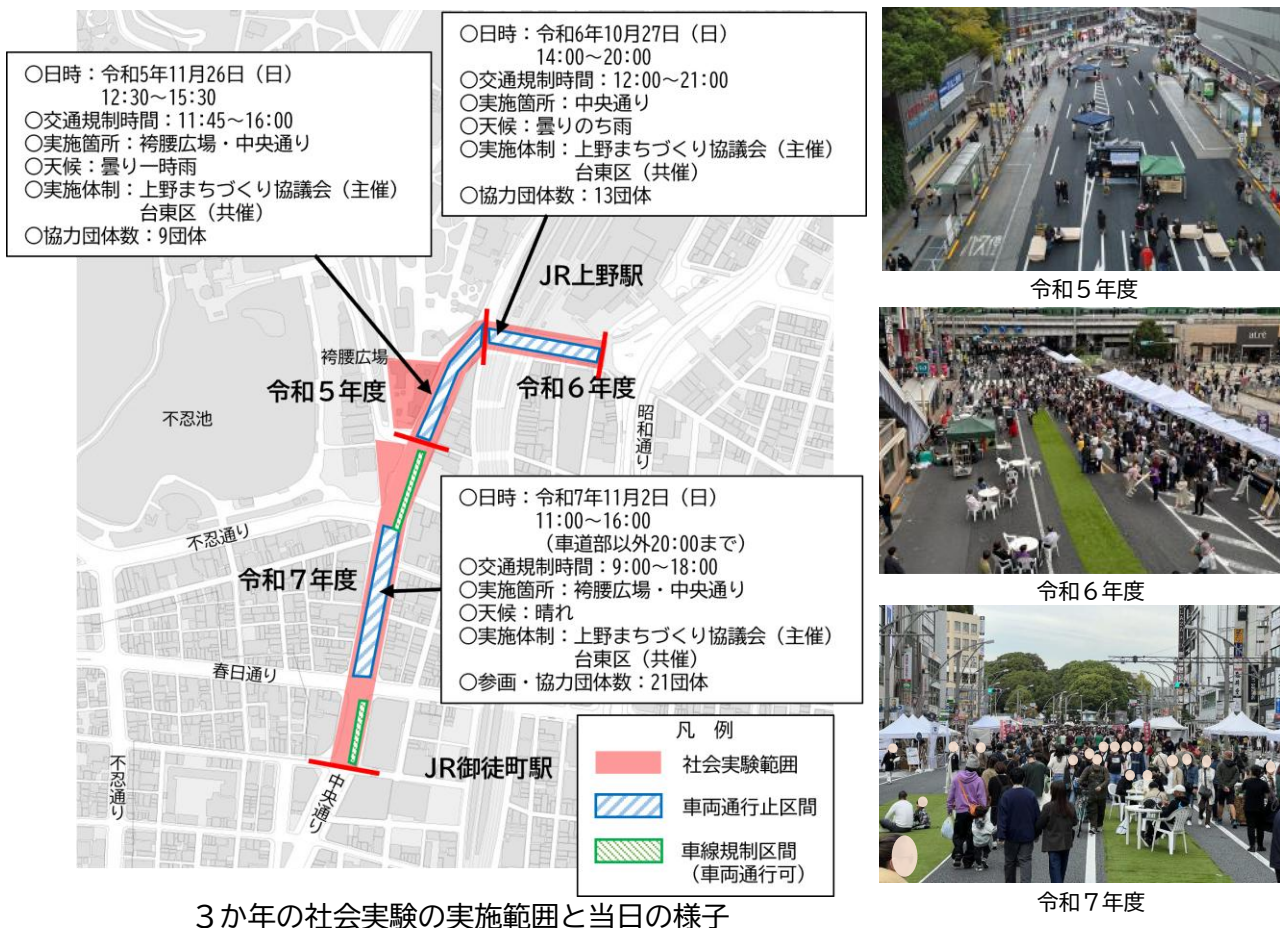
1 背景・目的

上野地区まちづくりビジョンに掲げる「杜とまちを自由に行き交うことができるひと中心の空間活用」の視点を踏まえ、杜・駅・まちを繋ぐ中央通りは、居心地が良く歩きたくなるウォーカブルな道路空間への転換を目指している。

こうした方針のもと、地域の方々や関係機関と連携しながら、道路空間活用の検討を深度化することにより、ひと中心の道路空間への再構築に繋げ、杜・駅・まちの回遊性向上や魅力の創出・発信を図り、地域の価値を更に高めていく。

2 これまでの取組

区では、中央通りにおける道路空間活用に向けた検討の深度化に繋げることを目的として、上野まちづくり協議会と連携し、3か年の社会実験に取り組んできた。

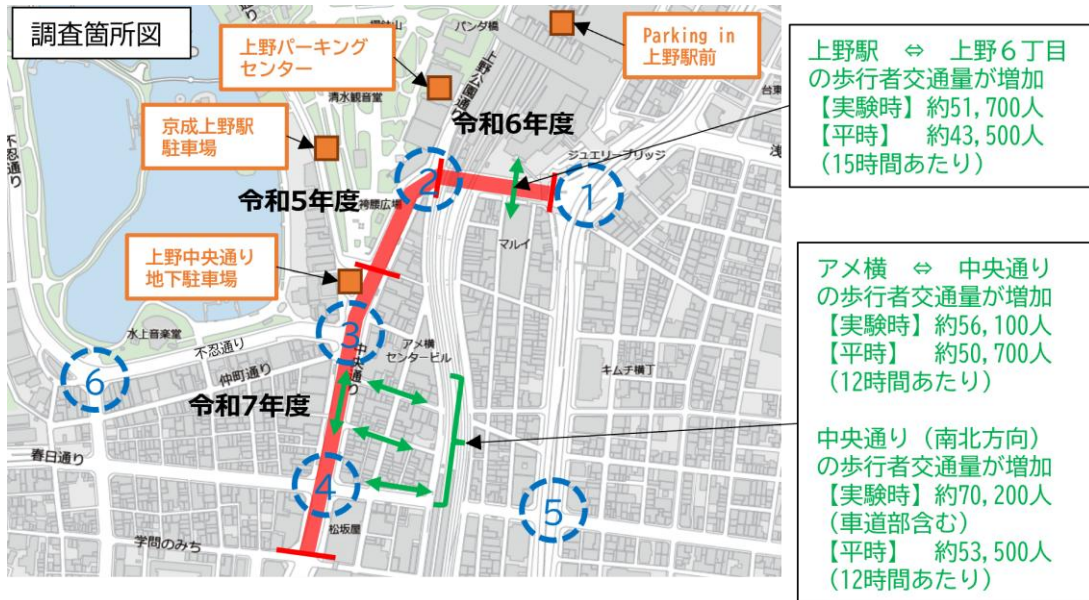


3 社会実験の効果検証

(1) 調査結果

① 自動車交通量

- ・ 昭和通りと春日通りの交差点⑤や池之端一丁目交差点⑥では、実験時の交通量が平時より増えたものの、各交差点における交差点需要率及び車線別混雑度は上限値内に収まっており、交通量の処理が可能であることが分かった。【全年度調査】



② 歩行者交通量

- ・ JR 上野駅広小路口と上野6丁目を往来する歩行者は、平時に比べ2割程度増加した。【令和6年度調査】
- ・ 平時に比べ、アメ横方面と中央通り方面を往来する歩行者は1割程度増加したほか、中央通りを南北に往来する歩行者は3割程度増加した。【令和7年度調査】

③ 路上駐停車・荷捌き車両の状況

- ・ 普段、中央通り沿いに停車している一般車両や荷捌き車両は、交通規制時間中、不忍通りや春日通り沿いに移動していたが、移動先の道路に大きな影響はなかった。【令和7年度調査】
- ・ 平時の荷捌き車両は、平日の台数が休日の約3.5倍であった。【令和7年度調査】

④ 大規模駐車場の利用状況

- ・ 上野駅周辺の大規模駐車場(上野パーキングセンター、Parking in 上野駅前、京成上野駅駐車場、上野中央通り地下駐車場)では、中央通り地下駐車場において実験時の利用台数が平時に比べ1割程度減少したものの、他の駐車場は平時と同程度の利用があった。【令和7年度調査】

(2) 今後の検討事項

- ・ひと中心の道路空間への再構築にあたっては、平日の自動車交通や広域の交通ネットワークへの影響の検証や不忍通りとのシームレスな交通ネットワークの構築を図る必要がある。
- ・中央通りが上野駅周辺の大規模駐車場へのアクセスルートとなっていることを踏まえ、中央通りの将来像の検討にあたっては、大規模駐車場の集約化・再配置等の可能性や駐車施設の配置・規模の適正化等に資する駐車場地域ルールをあわせて検討する必要がある。
- ・中央通りにおいては、多数の荷捌き車両やタクシー等の停車、路線バス停留所があることから、荷捌きルールの整備や各交通機能の整理といった統合的な対策を検討する必要がある。

4 関係者との検討状況

令和7年度の上野地区まちづくりビジョン推進会議(以下「ビジョン推進会議」という)では、「中央通りを核とした都市再生」や「中央通りへ杜のみどりをひろげる」といった今後のまちづくりの視点のほか、中央通りを不忍通りや浅草通りと共に、ひと中心の空間に再構築していくことを目指すことについて、関係者と共有した。

また、上野まちづくり協議会と連携して、歩行者空間の拡充や連続的な緑空間の創出といった中期・長期の将来イメージについて検討を進めている。



今後のまちづくりの視点イメージ(令和7年度上野地区まちづくりビジョン推進会議資料より抜粋)

5 東京都における中央通りの方向性

令和8年3月に東京都が策定した「東京における都市計画道路の整備方針」において、中央通り(上野広小路交差点から上野駅前までの区間)が、国際都市東京の魅力向上に資する観点から、ひと中心の道路空間への再編を目指していく路線(以下「リーディング路線※」という)として選定された。

今後、リーディング路線については、都と地元自治体との連携・役割分担のもと、地域の方々との合意形成や検討状況に応じて段階的に取組を進めながら、事業化を図っていくものとされている。

※上野地区では、中央通りのほか、不忍通り(上野区民館付近から中央通りまでの区間)、浅草通り(エントランス街区に面する区間)、都道452号線(上野桜木会館付近から輪王殿付近までの区間)がリーディング路線に選定された。

6 今後の取組

ひと中心の道路空間への再構築に向け、令和8年度は、3か年の社会実験や地域の方々のご意見のほか、中央通りと接続する不忍通りや上野駅周辺の都市空間再編の検討状況を勘案しながら、上野まちづくり協議会との連携のもと、中央通りの具体の将来像や道路空間の活用方針・マネジメント体制の検討に取り組んでいく。

また、それらの検討状況を踏まえ、都との協議・調整を重ねながら、既存の交通機能への影響分析や大規模駐車場の集約化・再配置等の可能性など、必要な検討を進めていくとともに、ビジョン推進会議において関係者との合意形成を図っていく。